

# 詐術の官内閣、文科省と偽装の朝鮮総連の合作

——国民をだまして朝鮮高校授業料無償化を強行——

朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会 代表 萩原 遼

## はじめに

十一月五日、高木義明文部科学大臣は、朝鮮高校にかんする「規程」なるものを発表し、朝鮮高校を授業料無償化の対象とすると決定した。国民の多くの声を無視したこの決定に各方面からきびしい抗議の声が上がった。この決定は、法律をねじまげた文科省の詐術によるものである。一方、朝鮮総連は、北朝鮮の工作員養成所という朝鮮高校の実際の姿をあたかも普通の高校のように偽装し、日本国民をだました。両者の合作によつて年間二億円という国費が金正日独裁政権の出先機関である朝鮮総連直営の朝鮮高校にわたることになつた。金額の多寡ではない。日本人拉致など無法行為をくりかえす北

政権にはびた一文やつてはならないという姿勢の問題である。文科省と朝鮮総連の合作である詐術と偽装を明らかにするためにこの一文を書く。

## まるで秘密文書の朝鮮高校教科書

高校授業料無償化は民主党の選挙マニュアルに書かれて、子ども手当と並ぶ目玉政策であつた。ことし二月末の国会審議で朝鮮高校授業料を無償化するかどうかが問題になつた。鳩山首相の態度ははつきりしない。閣内にも異論があつて、拉致担当の中井治大臣は「いまわが国は北朝鮮に対し制裁を行つてはならぬ」と、反対の立場を示した。これにより鳩山内閣は、授業料無償化から朝鮮高校を除外するとなつた。産経を除く大手新聞各紙は「朝鮮高校を授業料無償化から除外す

るのは差別だ」と社説で書き立て、国民をまどわせた。

このころまで私はこの問題をあまりよく知らなかつた。しかし、反対論を展開している新聞の論説子は教科書を読んでいるのだろうか、と素朴な疑問を感じた。そのこそ李英和関西大学教授が朝鮮高校教科書を入手して問題を指摘した(三月十二日付け産経)。日本は拉致を極大化しているなどとして「反総連、反朝鮮人騒動を大々的に繰り広げている」と書かれているそうだ。やはり現物を読んで中身を知らなければならない、と強く思った。入手の努力を始めたが、壁は厚い。ふつう日本の教科書ならかんたんに手に入る。ところが朝鮮高校の教科書はまるで秘密文献のように入手困難である。生徒たちも外部に出すことは厳禁されているようだ。あとでもふれるが、この嚴重さじたい朝鮮高校が北朝鮮の工作機関であることを示している。

## でたらめだらけの教科書

八方探した末に心ある人から朝鮮高校の現代史教科書三冊をついに手に入れた。

一巻を読んで驚いた。朝鮮戦争は韓国とアメリカが仕掛けた侵略戦争だと書いている。五十年前の、すでに破

上記した①朝鮮戦争の正反対の記述のほか、

②「地上の楽園」の虚偽宣伝で十万人の在日朝鮮人と日本人妻を地獄におびき寄せた一九六〇年代の帰国運動

を金日成の功績と賛美

③一九六七年五月の金日成・金正日親子によるクーデ

ターによつて極端な金王朝絶対化をたたえる

(4) 拉致に反省なく「拉致を極大化した」と日本を非難し、反朝鮮人、反朝鮮総連の騒動を起こして「日本社会には極端な民族排他主義的なふんいき」が作られたと記述

⑤日本人との「国際結婚」や「帰化」、日本学校に通う同胞を「民族的誇りや自負心」の喪失と非難

主張するのは勝手だが、こんなでたらめな教育に日本政府の金をくれとはあつかましい。

訳された教科書は広く好評を得た。関係者のあいだでは一冊一万円でも安いという方もいた。ある研究所が頼まれて部分訳を始めたが、時間と経費がべらぼうにかかると困っていたが、私たちの翻訳が出てとても喜んでくれた。いちばん喜んでいるのは朝鮮高校の生徒だと声も聞こえてきた。原文はすべてハングルのため予習が大変。日本語ならすらすら読めるからだ。

三月三十日、文科省は「各種学校」のうち「高校の課程に類する課程を置くもの」で、しかるべき機関の認定を受けた三十一校を無償化すると決めた。韓国大使館が認定した東京韓国学校中・高等部は授業料無償化の対象に含まれた。だが朝鮮高校は含まれない。理由は中身が

朝鮮高校の現代史教科書は、金親子の極端な礼賛と、彼らが率いる朝鮮労働党の絶対化を書きだしていい。教育基本法が禁じた「政治教育」そのものである。  
これだけでも朝鮮高校に公金を投入できないことは明らかだ。そこで文科省の専門家会議（これは座長以外はメンバーの名も隠された完全な秘密の会合である）とやらが知恵をだした。「教育の中身を問わない」という悪知恵である。それを法律でもつともらしく見せかける理由づけに専修学校をもちだした。専修学校とは平たく言えば職業学校である。学校教育法の第一百二十四条から第百三十三条までに規定されている。

### 「教育の中身不問」を法律でこじつけ

文科省の言い分を聞こう。八月三十日に発表された専門家の「検討会議」の結論である。朝鮮高校の授業料無償化にあたっては、以下の根拠を挙げた。

「既に指定されている専修学校高等過程に求められる水準を基本とする」

「既に指定されている専修学校高等課程について具体的な教育活動の内容に関する基準が定められていない」  
ここででてくる「既に指定されている」とは、税金投

よくわからないから専門家による「検討会議」を待つて八月末には決める、とした。先送りである。この先送りの五ヶ月のあいだに文科省の詐術が行われたというのが私の見方である。

### 壁をすり抜けるための文科省の詐術

#### 専修学校をもちだす

私たちの訳した朝鮮高校の教科書はまされもなく、日本の法律にふれる。

まず憲法第八十九条。「公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便益若しくは維持のため、又は公の支配に属しない慈善、教育若しくは博愛の事業に、之を出し、又はその利用に供してはならない」

朝鮮高校は金日成・金正日に忠誠を誓う人間を育てるところである。「公の支配に属しない教育」をおこなう機関そのものである。

教育基本法の第十四条。「(2)法律に定める学校は、特定の政党を支持し、またはこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない」

人が既に指定されている、という意味である。つまり専修学校には、彼らの言う「就学支援金」、つまり税金がすでに投入されているということ。税金をすでに投入されている専修学校は、教育の中身を問わなくてもよいのである。文科省にとっては絶好の口実である。

私は文科省の幹部役人に質問した。憲法第八十九条と教育基本法第十四条に抵触するではないか、と。彼らは答えた。それらに抵触するのは「法律の定める学校だけです」。法律の定める学校とは学校教育法第一条に規定された学校で、つぎのように定義されている。「この法律で、学校とは、小学校、中学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、特別支援学校及び幼稚園とする」。

彼らの言い分では専修学校は法律的には「学校」ではないのだ。だから憲法にも教育基本法にも抵触しないというのだ。この答えに私は啞然とした。これを聞いたのは九月十六日に自民党本部で開かれた文部科学部会の席である。私は「有識者」のひとりとしてこれに招かれていた。安部晋三元総理や自民党の衆参議員、関係者八十人ほどの会合である。文科省からは大臣官房総括審議官や高校就学支援室長などこの問題に当たっている中心的役人が六人呼ばれていた。

「教育とは中身そのもの」

この会合で安部元総理はこういった。

「教育とは中身そのものだ。たとえばオウム真理教が殺人の方法を教える学校を作っているとき政府はこれに公金を投入するのか」

正論である。

鳩山総理が退き菅内閣になつて変化が生じた。中井治大臣は衆議院予算委員長に祭り上げられた。はずされたのだ。川端達夫文科大臣も高木義明氏に交代した。そして出てきたのが八月末の検討会議の「報告」である。はじめて税金投入ありき。法律をまともに解釈すれば税金を投入できない。もつともらしく見せるにはこじつけしかない。法の壁をどうすり抜けるかの悪知恵の極致が「中身不問」であった。格好の口実にされたのが専修学校である。

差別ではなく区別にすぎない

朝鮮高校は学校教育法でいう「学校」ではなく、「専修学校」でもない。学校教育法第百三十四条でさだめる「各種学校」である。民主党政府がもちだしたのは「各種学

「各種学校」の道を選んだのではないのか。

われわれを区別しないでくれ、普通に扱つてくれといふのなら「各種学校」ではなく普通の「学校」になる努力をすべきだ。そのためには上にのべた反社会的な人間養成をやめねばならない。教育を根本的に改める道に進まねばならない。

変わらねばならないのはむしろ朝鮮高校の側である。

朝鮮総連は偽装工作で日本国民をだます

朝鮮学校は朝鮮総連が直営

次に朝鮮高校が工作員養成所であるにもかかわらず普通の学校を偽装して国民をだましていることを述べる。

朝鮮学校は朝鮮総連が経営する。校長はみな朝鮮総連の中央役員である。たとえば大阪朝鮮高校の校長は朝鮮総連本部から下りてきた金淳喆が勤めていたが、ことし四月朝鮮総連本部の教育局長に戻った。人事は相互乗り入れしている。教員は朝鮮総連幹部ないし朝鮮青年同盟の幹部である。全員朝鮮労働党の党員である。彼らは日本という在外組織であるから「學習組」（がくしゅうそ）と呼ぶが、共産党の基本組織の党細胞のことである。「学

校」の無償化ではなく、高校の授業料無償化である。朝鮮総連やその追随者が朝鮮高校を除外するのは差別だと言い出したから問題が複雑になったのだ。「各種学校」はじめから問題外の話である。「学校」と「各種学校」は法律によって区別されているだけのことだ。差別ではなく、区別にすぎない。「各種学校」とは、料理学校や美容師学校、鍼灸、外国语、囲碁、将棋、裁縫の学校など他種多様、それこそゴマンとある。これらの「各種学校」が、金をくれるのは差別だ、というのを聞いたことがない。

無償化がほしければ一条校になるか、専修学校になるか、私立学校を作るかしかない。しかしそのためには、日本の法律を順守し、複雑な学習指導要領もみな受け入れねばならない。日の丸君が代も受け入れねばならない。先にものべたが教育基本法第十四条は特定の政党を支持する政治教育をしてはならないと規定している。

若い在日朝鮮人を金日成と金正日の忠実な戦士に育てたい、朝鮮総連の後継者を多数育成したい、日本人拉致の工作員を確保したい、北朝鮮製の麻薬の運び屋もほしい、そういった目的があるから、日本の普通の「学校」などのようにあれこれうるさく口出しされたくないから朝鮮労働党である。

朝鮮総連じしん「民族教育は在日朝鮮人運動の生命線」と位置づけている。その“生命線”が日本人拉致をはじめ朝銀信用組合の破綻やかずかずの朝鮮総連の失政の結果、在日朝鮮人同胞からもそっぽを向かれ、民族学校の生徒減少、学校の統廃合などがあいつぎ、「危機にひんしている」と訴えている（二〇一〇年一月十三日の朝鮮総連本部委員長の会議）。

イルクン（専従活動家）の養成が主目的

朝鮮初級学校や中学校にはじまり朝鮮高校、朝鮮大学校へと朝鮮総連のイデオロギーで生徒・学生を洗脳して朝鮮総連のイルクン（専従活動家）に仕立てること、これが彼らの主目的である。イルクンにしてしまえば組織のおきてで縛り、拉致でも韓国での破壊工作でもなんでも

も可能となる。組織離脱者は北朝鮮に追放して処刑させることもできる。

数年前に私は、北朝鮮に拉致された松本京子さんの拉致現場を現地調査したことがある。京子さんは当時二十九歳。鳥取県米子市の海岸に近い町はずれに住んでいた。縫製工場につとめながら夕食を家で取つたあと、近くの編み物教室に通つていた。近道の細い道を通るのがならわしだった。街灯や、工作員が身を隠す垣根、海岸までの最短距離の道などを調べ上げるには長期にわたる尾行、監視が必要だ。日本に住んでいる補助工作員の手引きなしにはできない。明らかに朝鮮総連の工作員が動く。イルクンにとつては反社会的な行為も英雄的行為となる。現場をみてまわつてなにか鳥肌だつ恐怖を感じた。

#### 教科書は北朝鮮製

韓国に脱北した張真晟（チャン・ジンソン）という詩人がいる。この人は文才を買われて金正日の身近で仕事をすることになった。北の統一戦線部にいた自身の体验で、在日朝鮮人の民族教育の教科書は北で作つていると証言した（韓国のネット上で）。そのまま紹介する。

「なによりも朝総連学校の教科書からして教育の欺瞞

である。朝総連教科書は自分たちが編纂するのでなく朝鮮大学校で記述した草案を北朝鮮に送り修正、削除を受ける。指導機関も教育省ではなく朝鮮労働党委員会事務部の第一〇一連絡所が担当する。一〇一連絡所は平壌市中区域の蓮花洞にあり、統一戦線部内の文化連絡所として朝鮮総連の月刊雑誌『時代』を修正、決済する。一〇一連絡所は、朝総連がいまかかえる課題と目的まで反映した教科書を修正補完して八一三連絡所に送る。八一三連絡所は一〇一連絡所と同じ区域内にあり、統一戦線部の出版連絡所として完成原稿を朝総連にわたし、彼らはこれを日本で印刷する」

「統一戦線部がこうした完璧な作業をするのは、すべての決定事案を唯一批准制度の党原則に従つて金正日の最終サインをもらうためである」

以上の証言に付け加えることはない。こうした教科書で教えられる子どもたちが、どういう育ち方をするか言うまでもない。

#### 偽装が朝鮮総連の本質

して、偽装をくりかえす。学校の体裁をとりながら中身は北朝鮮と金親子に忠実な革命戦士、工作員を養成する。カリキュラムの偽装などお手のものである。日本の首長などが视察に訪れると想定問答まで作つて打ち合わせどおりの受け答えをする。金をくれないのは差別だと日本人の御用人士を使って喧伝する。そのためにさまざまの賄賂や便宜を提供し、彼らをつね日ごろ工作している。

『光射せ！』六号に、幼稚園から高校まで十五年間朝鮮学校に通つた元智彗（ウォン・チヘ）という在日朝鮮人青年が自分の体験を記している。彼は十五年間の体験の結論として朝鮮学校は「学校という名の工作員養成所」「北朝鮮のためのスパイ組織」と呼び、これを「消滅させねばならない」と訴えている。これが朝鮮学校の眞の姿である。

以上のように菅内閣文科省の詐術と朝鮮総連の偽装の合作として今回の朝鮮高校授業料無償化という国民だましの悪事が行われたのである。

どうなるこれから

る場所ではない。にもかかわらず北朝鮮という国際的ならずもの国家がからんでいる以上、嘆かわしいことも起こりうる。きつぱりとした態度なしには彼らの手くだにのまれてしまう。すでに菅内閣文科省は詐術で国民をだまして北朝鮮に同調した。首相の菅直人氏じしんが、悪名高い拉致実行犯で韓国で逮捕された辛光洙の身柄引き渡しも放棄して北朝鮮に「凱旋將軍」のように送り返した「前科」の持ち主である。菅内閣と文科省の反国民的政策をきびしく糾弾すること、そして早い時期にこの誤った決定を元に戻さることである。北朝鮮べつたりの壳国政府を国民に立脚した政府に変えさせることだ。

拉致された日本人を救う会は「検討会議の報告」のできた八月末から、税金投入は金正日に「間違つたメッセージを与える」と組織あげて反対する態度を打ち出した。各地方組織にも指令して、朝鮮学校への公金投入に反対するよう各首長に要請行動を起こしている。

そうしたなかで、朝鮮高校への国費投入以外にすでに長年にわたって、朝鮮総連直営の朝鮮小、中学、高校に都道府県から「補助金」が渡つていていることにもメスが入れられた。救う会などの調べで全国二十七都道府県に総額八億円の金が毎年渡つていて。（次頁表・参照）。

教育の場とはだましたり、偽装したりの手くだを弄す

これは生徒個人に渡るのではなく朝鮮学校に渡る。いわゆるつかみ金である。いつそうごまかしやすい。大阪の橋下知事は「金親子の肖像画をはずせ」「朝鮮総連と手を切れ」の二つを示し、この条件が入れられないかぎり毎年出している大阪府の「補助金」約二億円は支出しな

いといつている。この大阪の例にならって各地で裁判を起こして補助金を打ち切らせる動きも出つつある。心ある在日朝鮮人も朝鮮総連とたたかうために日本人との提携を望んでいる。「光射せ！」はそのためにいつそうの役割が期待されている。

(二〇一〇、十一、十五)

## 朝鮮学校に対する自治体補助金一覧

平成21年度実績(単位:千円)

	都道府県補助	市区町村補助	合計	備考
北海道	6,296		6,296	●初中高級学校1
宮城県	1,544		1,544	初中級学校1
福島県	2,444		2,444	初中級学校1
茨城県	2,385		2,385	●初中高級学校1
栃木県	1,700		1,700	初中級学校1
群馬県	2,537	464	3,001	初中級学校1
埼玉県	8,975	11,589	20,564	初中級学校1 幼稚園1
千葉県	5,620		5,620	初中級学校1
東京都	23,570	90,250	113,820	●中高級学校1 初中級学校9 大学校1
神奈川県	72,476	16,028	88,504	●中高級学校1 初級学校4
新潟県	1,159	861	2,020	初中級学校1
福井県	297	253	550	初中級学校1
長野県	2,597	2,048	4,645	初中級学校1
岐阜県	2,912	903	3,815	初中級学校1
静岡県	1,373		1,373	初中級学校1
愛知県	22,207	8,843	31,050	●中高級学校1 初級学校4
三重県	3,000	1,735	4,735	初中級学校1
滋賀県	1,975		1,975	初級学校1
京都府	33,045	13,600	46,645	●中高級学校1 初級学校3
大阪府	185,111		185,111	●高級学校1 初中級学校10
兵庫県	139,563	48,604	188,167	●高級学校1 初中級学校6
和歌山県	4,050		4,050	初中級学校1
岡山県	243	1,929	2,172	初中級学校1 幼稚園1
広島県	13,801	13,929	27,730	●初中高級学校1
山口県	2,250		2,250	初中級学校1
愛媛県	600		600	初中級学校1
福岡県	8,000	5,900	13,900	●中高級学校1 初級学校2 幼稚園1
合計	549,730	216,936	766,666	

\* 救う会 全国協議会 ホームページ  
<http://www.sukuuai.jp/report02.php?itemid=2314> から  
\* 文部科学省資料を基に作成。  
\* 「備考」は救う会にて補足。●印は高級学校。後ろの数字は学校数

元朝鮮学校  
生徒が赤ら  
に語ら!!

## 朝鮮学校の「民族教育」は

授業料無償化に値しない

朝鮮高校修了生 元 智彗

朝鮮学校が行っている「民族教育」について、それを

ある。

実際に受けた者以外にその実態を知る者は少ない。正確に言えば、「民族教育の恐ろしさ、愚かさ」というべきであろうか。

私自身、幼稚園から高校まで過去十五年におよぶ歳月を、朝鮮総連、そして民族学校に属していた。

思い起こせば、まともに「教育」というものに接した経験は成人を迎えるまで皆無だったのかもしれない。なぜならば、朝鮮学校が声高に叫んでいる「民族教育」などという代物は、「教育」というものとはまったくもつてかけ離れているといつても、決して過言ではないからで

朝鮮高級学校（朝鮮高校）の授業料無償化是非が審議されるなか、無償化除外は妥当とするその理由を、個人的体験をもとに綴ることとする。